

イベントカレンダー

新河岸川広域景観プロジェクト 景観フォーラム

と き 平成22年3月27日(土)13:00～16:10
 ところ 志木市民会館パルシティ2階
 204、205 会議室
 内 容 景観プロジェクトの取り組み発表、講演会、
 パネルディスカッション、パネル展示
 参加費 無料(事前申込不要)
 主 催 埼玉県

問合せ先

TEL: 048-830-5367 (埼玉県都市整備部田園都市づくり課)

第3回 環境フェアきよせ

と き 5月23日(日) 10:00～16:00(雨天決行)
 ところ 清瀬市児童センター(ころぼっくる)・神山公園
 清瀬市中清戸3-235-5 (042-495-7700)
 テーマ 来て見て学ぼう 環境フェア清瀬
 内 容 講演会、市内市民団体
 小・中学生によるパネル展示
 事業者の取り組み紹介、魚の観察など(予定)
 主 催 環境フェア実行委員会

問合せ先

TEL: 042-493-3750 (清瀬市市民生活部環境課)

事務局だより

第7回連絡会を開催しました

去る3月9日(火)、第7回(今年度最終回)新河岸川流域川づくり連絡会が、開催されました。当日は雪が降り、冬のように寒い日であったにも関わらず、多くの参加者を迎え、来年度の連絡会の進め方などについて活発な意見交換が行われました。

今年度、連絡会は数名の新しい参加者を迎え、メンバーの交流も、地域も広がりを見せています。今後も、川を通じたつながりをさらに広めていきたいですね。



第7回新河岸川流域川づくり連絡会の様子

新河岸川ぶらり散歩 ～最終回 旧赤間川・入間第二用水から入間川へ～

と き 平成22年4月29日(木・祝)
 ところ 9:30～15:30頃(雨天中止)
 集合場所 西武新宿線「本川越駅」改札(9:30集合)
 持ち物 弁当、飲み物、レジャーシート、
 歩きやすい服装、季節の対策
 費用 一般300円、会員100円、中学生以下無料
 ※家族は全員で1名扱い
 主 催 NPO法人エコシティ志木、
 (財)埼玉県生態系保護協会志木支部

問合せ先

TEL: 048-471-4275 (毛利)

第12回 空堀川川まつり

と き 平成22年5月30日(日)
 10:00～15:00(小雨決行)
 ところ 空堀川沿いのからぼり広場(浄水橋近く)
 内 容 川あそび、カモレース、お囃子、
 フリーマーケット、模擬店等(予定)
 主 催 空堀川・川まつり実行委員会

問合せ先

TEL: 090-9209-1784 (友保)

川づくり連絡会に参加してみませんか？

原則第2火曜日に新河岸川流域川づくり連絡会を開催しています。参加希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。(開催場所はお問い合わせ時にお知らせします。)

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAX・メールにて下記連絡先までお寄せ下さい。

■連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
 (国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)
 〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
 TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
 URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/shingashi/>
 E-mail arage-shingashi@ktr.mlit.go.jp

THE SHINGASHI BASIN NEWS 新河岸川流域しんぶん

里川

SATO-GAWA

VOL. 61

発行 ●新河岸川流域川づくり連絡会 (荒川下流河川事務所 調査課内)
 住所 ●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
 発行日 ●平成22年(2010)3月22日



切り絵 毛利将範

沈丁花の甘い香りに、春を感じるこの季節。しかし、この3月は、雪が降って冬のような寒さの日もありました。気温の変化の激しさに季節の変わり目を実感しますが、だいぶ暖かくなってきましたね。桜やほかの花々も、つぼみをいっぱい膨らませて、開花へ向けて準備を整えているようです。今月の里川では、2月に行われた第6回川でつながる発表会を特集します。発表者の子どもたちも4月からは新しい学校や学年になります。進級しても、川に親しみ、楽しく学び続けていってほしいですね。

目次

- P2 新河岸川流域 市民活動の広がり
- P3 連載：流域の川をたずねて(6)
- P4 イベント・事務局便り
- P5 特集：第6回 川でつながる発表会 開催報告

新河岸川流域 市民活動の広がり

現在、新河岸川流域では、総合治水対策や水循環再生の取り組みが、行政と市民によって実施されています。また、新河岸川流域内で活動する多くの市民団体により、これらの取り組みに係る活動が活発に行われています。ここでは、新河岸川流域内で取り組まれている、市民による様々な活動を紹介し、皆さんも、興味のある活動に是非ご参加下さい。

身近な川・里川の一斉調査

身近な川・里川の一斉調査は、6月の第一日曜日に、同じ日・時間帯に、統一された手法を用いて、市民によって調査が行われます。流域各地から集まる調査結果は「新河岸川水系水環境連絡会」がとりまとめ、流域の水質マップやデータ報告会で報告されます。今年度の報告会は平成22年3月28日(日)に東久留米市内で開催予定です。この里川の一斉調査は「身近な水環境の全国一斉調査」と連携して広がっています。

参考：新河岸川水系水環境連絡会 <http://shingashi.hp.infoseek.co.jp/>



2008 身近な川の一斉調査マップ

やってみよう湧水モニター講座 (水循環市民モニター講座)

新河岸川流域の水循環再生のためには、継続的に川の水質や水の流れ、生き物、流域の緑などを見守っていく「水循環市民モニター」の存在が必要です。その活動の一環として、現在、新河岸川流域では流域内の湧水地点や湧水量などの調査活動が行なわれています。

平成22年2月21日には、水循環モニターとして必要な知識や技術を身につけるために、「湧水モニタリング」を実践形式で学ぶ講習会「やってみよう湧水モニター講座 in 不老川源流・狭山丘陵」が、不老川源流・狭山丘陵で開催されました。

講師：中村裕昭氏(地域環境研究所) 主催：新河岸川水系水環境連絡会



湧水モニター講座の様子

やってみよう流域コミュニケーションマップ講座 (水循環市民モニター講座)

新河岸川流域コミュニケーションマップとは、新河岸川流域の川の状況、水質、湧水、緑などの水循環に係る情報や、生き物、流域の魅力資源などの情報を、市民が自ら集め、インターネット上の地図に登録・蓄積・発信するものとして、「柳瀬川流域水循環市民プロジェクト」が管理運営しているものです。このマップの普及を目指して、平成22年2月28日には「やってみよう流域コミュニケーションマップ講座 in 新河岸川流域」が開催されました。

講師：王寺秀介氏(柳瀬川流域水循環市民プロジェクト研究会) 主催：新河岸川水系水環境連絡会

参考：新河岸川流域コミュニケーションマップ <http://www.strata.jp/yanase/>



コミュニケーションマップ講習会の様子



コミュニケーションマップトップ画面



コミュニケーションマップ操作画面

◇新河岸川流域◇

「身近な川の一斉調査2009 報告会・湧水保全シンポジウム」のおしらせ

平成21年度、新河岸川流域では、水循環と湧水に関わる様々な市民モニター活動をしてきました。今回のテーマ「湧水保全」に絡み、環境省で選定された平成の名水百選に都内で唯一選ばれた、落合川・南沢湧水群がある東久留米で開催します。今回も、例年通りの水質データ集及び流域マップを当日会場でお配りします。午後は「流域にある湧水を保全するため」の各河川での取り組みを取り上げ、今後の保全についてのシンポジウムを開催します。是非ご参加下さい。



昨年度の様子

参加申込み不要！お気軽にご参加下さい。

- 【日 時】 2010年3月28日(日) 10時～16時30分
- 【会 場】 東久留米・成美教育文化会館
(東京都東久留米市東本町8-14 Tel 0424-71-6600)
- 【費 用】 無料
- 【問合せ】 090-2642-9442(菅谷)
- 【主 催】 新河岸川水系水環境連絡会
E-mail shingashi@yahooogroups.jp
- 【共 催】 柳瀬川流域水循環市民プロジェクト研究会
- 【後 援】 国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所

プログラム(予定)

- 10時00分～12時00分
「新河岸川流域 身近な川の一斉調査2009 報告会」
・新河岸川流域調査結果の報告
・全国一斉調査結果の報告
・2010年度調査に向けた協議
- 13時30分～16時30分
「新河岸川流域 湧水保全シンポジウム」
開会挨拶・趣旨説明
基調講演「湧水モニタリングのススメ」
講師：中村裕昭氏(地域環境研究所)
事例紹介「新河岸川流域の湧水とモニタリング」

流域の川をたずねて(6)～歴史的治水施設・水塚の調査②～

NPO法人エコシティ志木では、都市化された志木市・宗岡地区に今なお50基以上も残る水塚のうち、21軒を訪問しヒアリングを行いました。

水塚は、水害に備えて穀物や衣類など貴重品を保存し、避難生活をする場所でしたが、現在では本来の役割はほとんどなくなり、存在価値が次第に低くなっていくのが現状です。

ただ、避難用の舟を納屋の軒下などに、今なお吊して所有しているお宅も想像以上にあり、また、多額の費用をかけて水塚を改修保全しているお宅もあります。

ヒアリングを続けるうち、水塚という施設を媒介に、昔の暮らしや先祖の記憶が今にありありと生き続けているのだと実感してきました。水塚はそこに存在するだけで、たとえ親の代が知らないような水害に遭遇したとしても、何を備えておいて、水がどのくらい出たら何をすればいいのかを教えてくれる施設なのではないでしょうか。

来年度は、以上の調査による成果を、まちかど展示・報告書出版などにより水塚の記憶を地域に還元する事業を行う予定です。そして、それらを将来の治水・まちづくりに活かすという視点から、当会が実施している「志木まるごと博物館」活動の具体的な展開につなげたいと考えています。

本連載は NPO 法人エコシティ志木の毛利さんより寄稿いただきました



納屋に吊されている舟



保全改修された「内倉」「外倉」とよばれる2棟の煉瓦製水塚と母屋(右側)

平成21年度 第6回 川でつながる発表会 開催報告



2月20日(土)に、第6回「川でつながる発表会」が、東村山市の明法中学・高等学校講堂において開催されました。小学校から大学までの6校が、日頃の活動の成果を発表しました。今年は、流域外の学校からの参加や、流域内外の川を比較した発表などもあり、川を通じたつながりが広がった発表会となりました。参加者は、生徒らの熱心な発表に、耳を傾けていました。



プログラム

12:00	受付開始	15:00	交流休憩時間
13:00	開会	15:45	表彰状授与
13:00	挨拶	15:55	講評
13:10	発表会・コーラス	16:00	閉会
		16:00	記念撮影

①早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター (WAVOC) 公認 早稲田大学所沢キャンパス湿地保全プロジェクト



湿地を保全するために 私たちが取り組んでいること

保全活動を始めて7年目となる早稲田大学所沢キャンパス湿地保全プロジェクトの活動が、紹介されました。活動によって地域の人たちとの繋がりも深まり、他で活動している人たちとの協力関係も深まってきていることなども併せて発表されました。

②文京学院大学環境教育研究センター



「ビオトープ計画」体験学習講座 ~新河岸川の鳥類調査を通して~

独立行政法人科学技術振興機構の「サイエンスパートナーシップ・プロジェクト」により実施されている、中学生や高校生にビオトープ計画の手順を体験学習させる講座の一環で、昨年10月に新河岸川の川辺と水田で鳥類の観測等を行った事例の発表がありました。

③明法中学・高等学校 科学部



野火止用水の水を追って

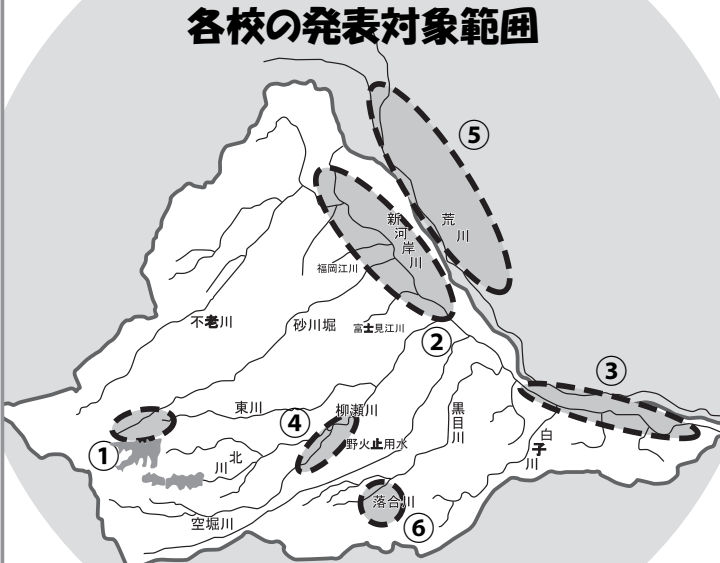
5回目の参加となる明法中学・高等学校科学部からは、昨年に引き続き野火止用水の水が流れて行く先をたどって、新河岸川沿いをゴミを拾いながらの川歩きをした様子が発表されました。またエコイルミネーションやエコプラネタリウム、ソーラーカートの制作状況も併せて発表されました。

尚美学園大学・バーベナコーラス・スバル会コーラス 他



「不老川の応援歌」他

今回「不老川の応援歌」「ビリーブ」「ふるさと」の3曲が披露されました。「不老川の応援歌」を作詞された高木さんから、「3年前に発表したこの曲が、いろいろところで歌われて地域で広がりを見せている。」というお話があり、作曲をされた関口さんからも作曲の時のエピソードが述べられました。



発表へのコメント・質問



発表後にコメンテータから各発表者へコメントと質問がなされ、発表者からそれに対する回答がありました。前半の①~③の3校はNPO法人エコシティ志木の伊藤さん、後半の④~⑥の3校は黒目川流域川づくり懇談会の藤井さんがコメンテータを務め、会場の参加者からの質問もありました。

④清瀬市立清瀬第四小学校



空堀川を調べる

清瀬第四小学校では毎年4年生が、学校近くの空堀川の川原に下りて陸や水の生きものを調べているそうです。今年度に植物グループ、水の生きものグループ、陸の生きものグループという3つのグループに分かれて行った川原での学習と、7月に行ったカワナナの救出についての詳しい発表がありました。

⑤埼玉県立浦和高等学校



埼玉県の川をめぐる環境 総合的な学習の時間における独自研究の紹介

身近な川に関して、「荒川の水質調査」「福川流域に生息する鳥類の調査」「湯沼川の水源をたずねて」という3つの調査について発表がありました。「荒川の水質調査」では、荒川の4か所で水質調査を行い、調査結果を比較考察したもので、住んでいる所に近い場所が最も汚れていたそうです。

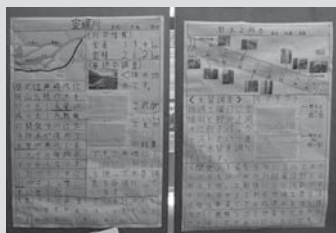
⑥自由学園男子部高等科



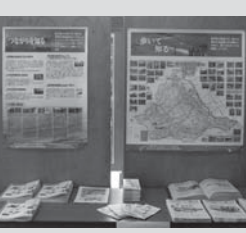
校内を流れる立野川 「僕たちの活動」

校内を流れている立野川と、栃木県にある学園農場横を流れている蛇尾川を対象に、生徒たちが行っている調査・活動の様子が報告されました。また、昨年秋には生徒によって総合治水の自主研究グループがつくられ、降水量や水位・流速のモニタリングシステムによって立野川の洪水について調べているそうです。

パネル展示



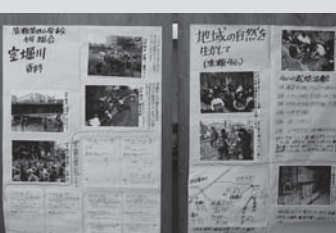
明法中学・高等学校科学部



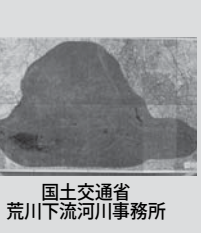
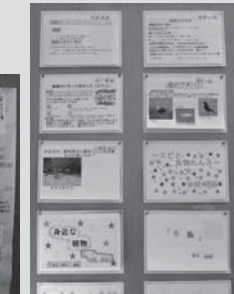
新河岸川流域川づくり連絡会



川づくり・清瀬の会



清瀬市立清瀬第四小学校



国土交通省 荒川下流河川事務所



早稲田大学平山郁夫記念 ボランティアセンター (WAVOC) 公認 早稲田大学所沢キャンパス湿地保全プロジェクト



東村山今昔写真展



東村山の変遷航空写真展

当日の様子



パネル展

表彰状授与

受付風景

会場からの感想

会場の様子

講評